

人権啓発事業についてのアンケート集計結果

県では、平成13年4月に「滋賀県人権尊重の社会づくり条例」を施行し、すべての人の人権が尊重される豊かな社会づくりをめざして、人権に関する様々な啓発活動に取り組んでいます。今後、さらに多くの皆様に人権の大切さについて考えていただけるような啓発を行うため、アンケート調査を実施しました。

- ★調査時期 平成30年1月
- ★対象者 県政モニター 396 人
- ★回答数 314 人 (回収率 79.3 %)
- ★担当課 県民生活部人権施策推進課

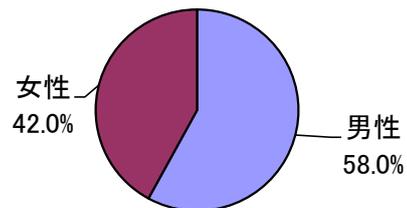
※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。

【属性】

◆性別

	人数(人)	割合(%)
男性	182	58.0
女性	132	42.0
合計	314	100.0

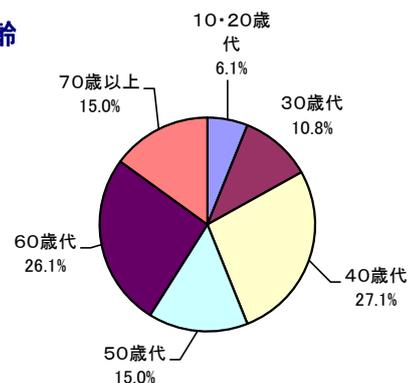
性別



◆年齢

	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	19	6.1
30歳代	34	10.8
40歳代	85	27.1
50歳代	47	15.0
60歳代	82	26.1
70歳以上	47	15.0
計	314	100.0

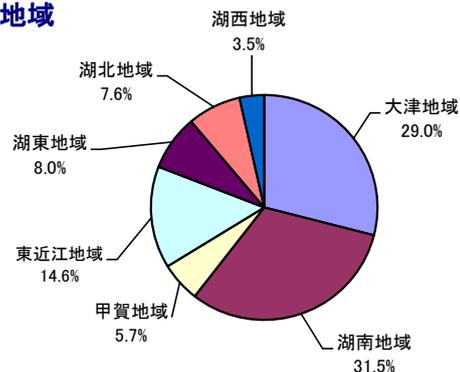
年齢



◆地域

	人数(人)	割合(%)
大津地域	91	29.0
湖南地域	99	31.5
甲賀地域	18	5.7
東近江地域	46	14.6
湖東地域	25	8.0
湖北地域	24	7.6
湖西地域	11	3.5
計	314	100.0

地域



問1

次の(ア)～(シ)の方法で行った人権啓発について、

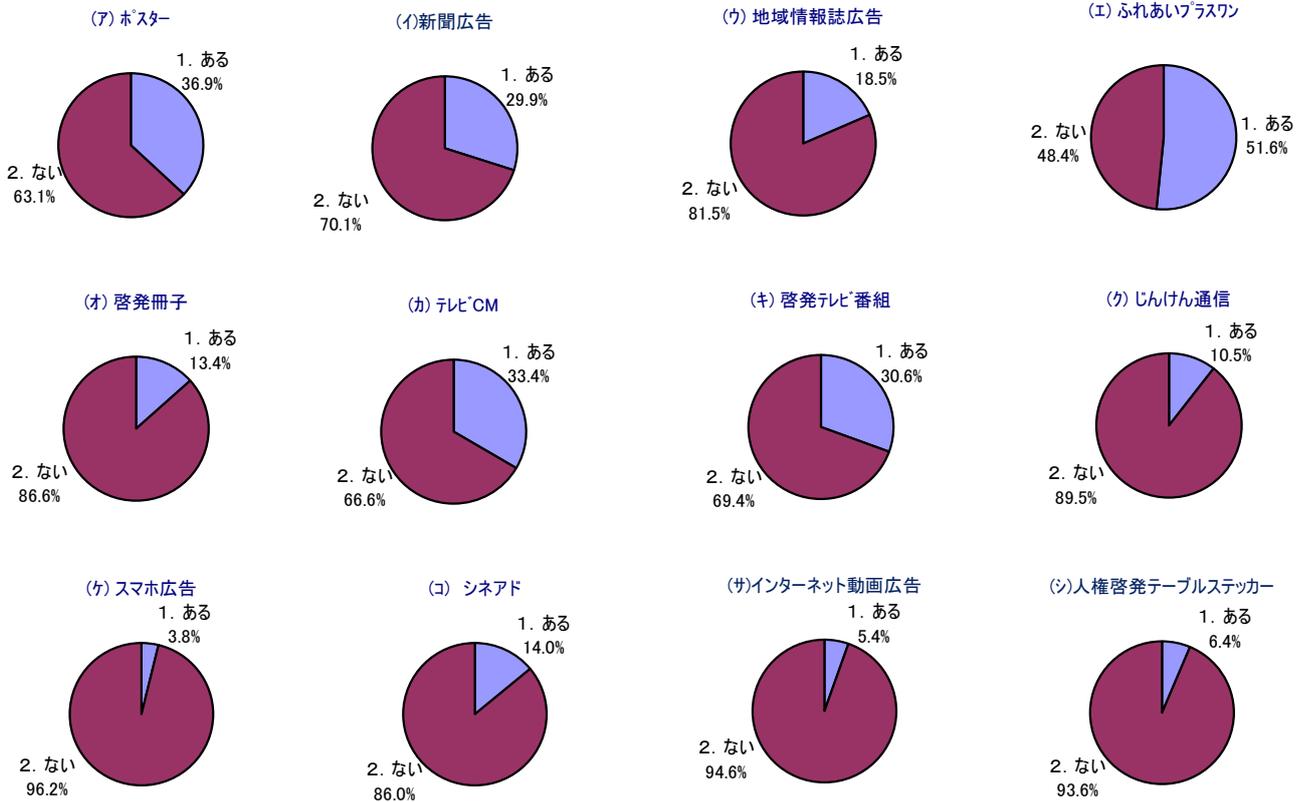
- (1) 今年度、これらを見たり聞いたり、または読んだりしたことがありますか。
- (2) (1)で「1. ある」を選択された方は、それが「人権」について考えるきっかけとなりましたか。
- (3) (1)で「1. ある」を選択された方は、それが「人権」について何か行動するきっかけとなりましたか。
- (4) 今後もこのような啓発を行うべきだと思いますか。

(1) 見たり聞いたり、または読んだりしたことがありますか。(回答チェックはそれぞれ1つだけ n=314)

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)地域情報誌広告		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ある	116	36.9	94	29.9	58	18.5	162	51.6
2. ない	198	63.1	220	70.1	256	81.5	152	48.4
計	314	100.0	314	100.0	314	100.0	314	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ある	42	13.4	105	33.4	96	30.6	33	10.5
2. ない	272	86.6	209	66.6	218	69.4	281	89.5
計	314	100.0	314	100.0	314	100.0	314	100.0

	(ケ)スマホ広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)人権啓発テーブルステッカー	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ある	12	3.8	44	14.0	17	5.4	20	6.4
2. ない	302	96.2	270	86.0	297	94.6	294	93.6
計	314	100.0	314	100.0	314	100.0	314	100.0



(ア)～(シ)の内容については次のURL(県HP)より御確認ください。

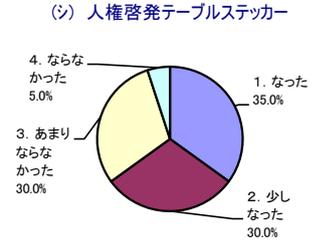
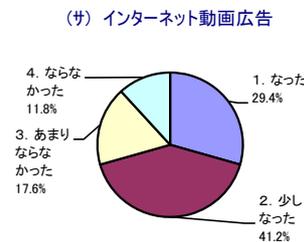
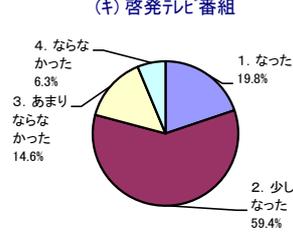
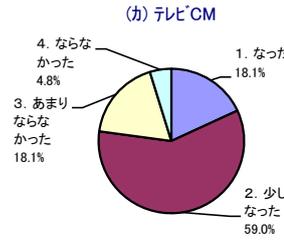
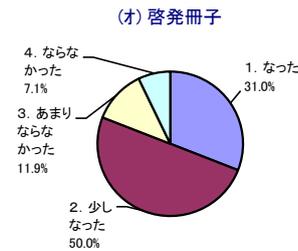
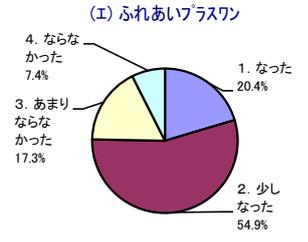
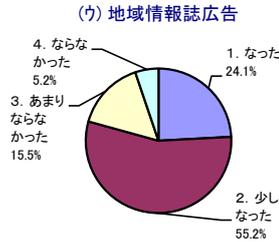
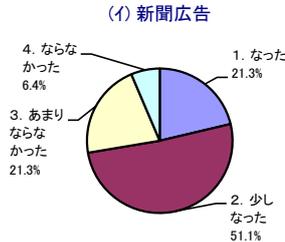
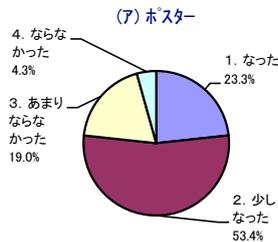
- ・(ア)ポスター：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/poster/poster-2012.html>
- ・(イ)新聞広告：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/sinbun/shinbum2012.html>
- ・(ウ)地域情報誌広告：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/chiikijyouthoushi/20130327.html>
- ・(エ)ふれあいプラスワン：http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/hureaiplus1/2017_2018.html
- ・(オ)啓発冊子：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/kyozai/index.html>
- ・(カ)テレビCM：<http://www.pref.shiga.lg.jp/nettv/jinkenda/index.html>
- ・(キ)啓発テレビ番組：<http://www.pref.shiga.lg.jp/nettv/jinkenda/index.html>
- ・(ク)人権通信：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/jinkentushin/saishin.html>
- ・(ケ)スマホ広告：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/intenetbannerkoukou.html>
- ・(コ)シアネド：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/sineado.html>
- ・(サ)インターネット動画広告：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/intenetdougakoukou.html>
- ・(シ)人権啓発テーブルステッカー：<http://www.pref.shiga.lg.jp/c/jinken/keihatsu/tablesticker.html>

(2)「人権」について考えるきっかけとなりましたか。〔問1-(1)で各項目ごとに「1. ある」を選択された方のみ回答〕
 (回答チェックはそれぞれ1つだけ)

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)地域情報誌広告		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	27	23.3	20	21.3	14	24.1	33	20.4
2. 少しなった	62	53.4	48	51.1	32	55.2	89	54.9
3. あまりならなかった	22	19.0	20	21.3	9	15.5	28	17.3
4. ならなかった	5	4.3	6	6.4	3	5.2	12	7.4
計	116	100.0	94	100.0	58	100.0	162	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	13	31.0	19	18.1	19	19.8	10	30.3
2. 少しなった	21	50.0	62	59.0	57	59.4	16	48.5
3. あまりならなかった	5	11.9	19	18.1	14	14.6	6	18.2
4. ならなかった	3	7.1	5	4.8	6	6.3	1	3.0
計	42	100.0	105	100.0	96	100.0	33	100.0

	(ケ)スマホ広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)人権啓発テーブルステッカー	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	6	50.0	14	31.8	5	29.4	7	35.0
2. 少しなった	4	33.3	16	36.4	7	41.2	6	30.0
3. あまりならなかった	1	8.3	10	22.7	3	17.6	6	30.0
4. ならなかった	1	8.3	4	9.1	2	11.8	1	5.0
計	12	100.0	44	100.0	17	100.0	20	100.0

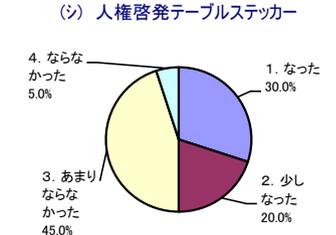
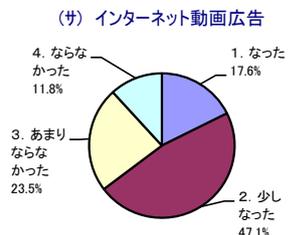
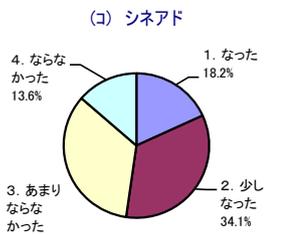
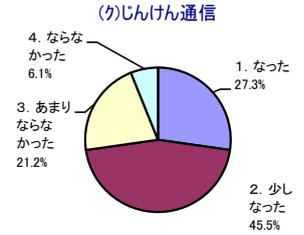
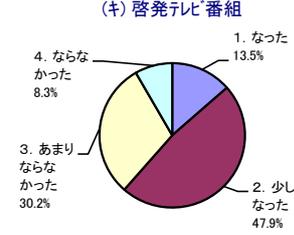
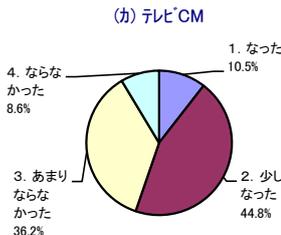
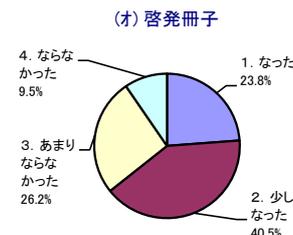
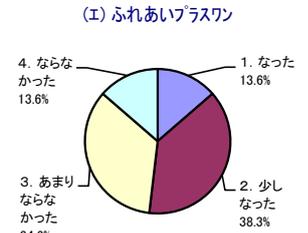
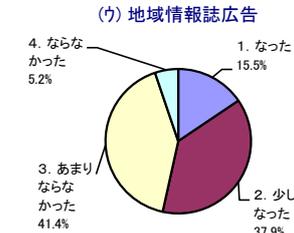
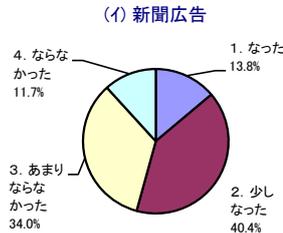
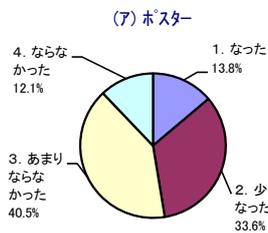


(3)「人権」について何か行動するきっかけとなりましたか。〔問1-(1)で各項目ごとに「1. ある」を選択された方のみ回答〕
 (回答チェックはそれぞれ1つだけ)

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)地域情報誌広告		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	16	13.8	13	13.8	9	15.5	22	13.6
2. 少しなった	39	33.6	38	40.4	22	37.9	62	38.3
3. あまりならなかった	47	40.5	32	34.0	24	41.4	56	34.6
4. ならなかった	14	12.1	11	11.7	3	5.2	22	13.6
計	116	100.0	94	100.0	58	100.0	162	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	10	23.8	11	10.5	13	13.5	9	27.3
2. 少しなった	17	40.5	47	44.8	46	47.9	15	45.5
3. あまりならなかった	11	26.2	38	36.2	29	30.2	7	21.2
4. ならなかった	4	9.5	9	8.6	8	8.3	2	6.1
計	42	100.0	105	100.0	96	100.0	33	100.0

	(ケ)スマホ広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)人権啓発テーブルステッカー	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. なった	4	33.3	8	18.2	3	17.6	6	30.0
2. 少しなった	6	50.0	15	34.1	8	47.1	4	20.0
3. あまりならなかった	1	8.3	15	34.1	4	23.5	9	45.0
4. ならなかった	1	8.3	6	13.6	2	11.8	1	5.0
計	12	100.0	44	100.0	17	100.0	20	100.0

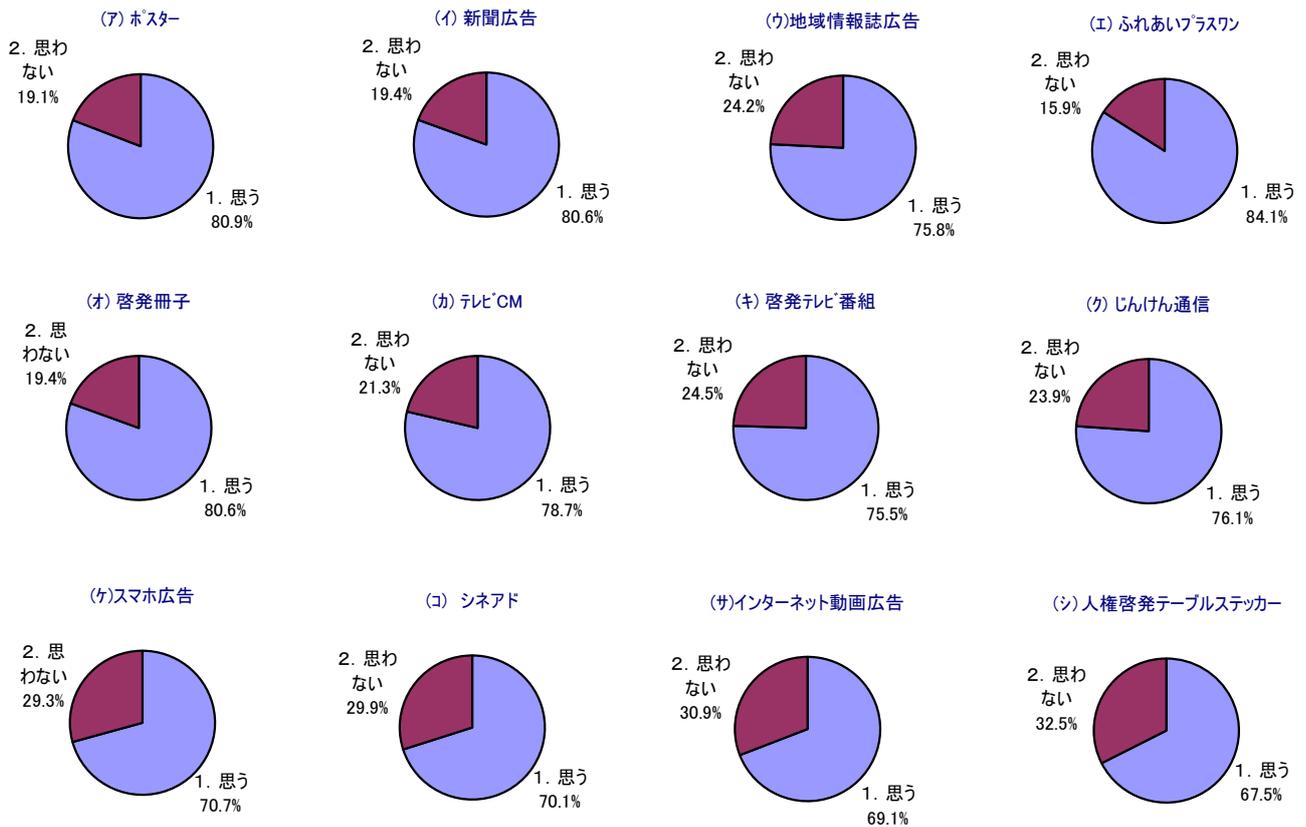


(4) 今後もこのような啓発を行うべきだと思いますか。(回答チェックはそれぞれ1つだけ n=314)

	(ア)ポスター		(イ)新聞広告		(ウ)地域情報誌広告		(エ)ふれあいプラスワン	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 思う	254	80.9	253	80.6	238	75.8	264	84.1
2. 思わない	60	19.1	61	19.4	76	24.2	50	15.9
計	314	100.0	314	100.0	314	100.0	314	100.0

	(オ)啓発冊子		(カ)テレビCM		(キ)啓発テレビ番組		(ク)じんけん通信	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 思う	253	80.6	247	78.7	237	75.5	239	76.1
2. 思わない	61	19.4	67	21.3	77	24.5	75	23.9
計	314	100.0	314	100.0	314	100.0	314	100.0

	(ケ)スマホ広告		(コ)シネアド		(サ)インターネット動画広告		(シ)人権啓発テーブルステッカー	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. 思う	222	70.7	220	70.1	217	69.1	212	67.5
2. 思わない	92	29.3	94	29.9	97	30.9	102	32.5
計	314	100.0	314	100.0	314	100.0	314	100.0



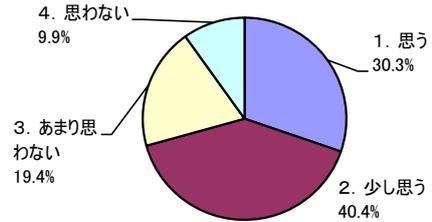
問2

県では、市町や関係機関・団体とともに、9月の同和問題啓発強調月間と12月の人権週間に、駅や量販店等で街頭啓発を行いました。このような街頭啓発は人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。
(回答チェックは1つだけ n=314)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	95	30.3
2. 少し思う	127	40.4
3. あまり思わない	61	19.4
4. 思わない	31	9.9
計	314	100.0

街頭啓発

人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



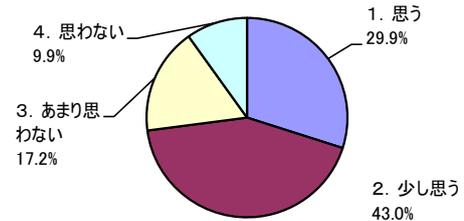
問3

(1) 県では、毎年、県民参加型の人権啓発イベント「じんけんフェスタしが」を開催しています。このような催しは人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=314)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	94	29.9
2. 少し思う	135	43.0
3. あまり思わない	54	17.2
4. 思わない	31	9.9
計	314	100.0

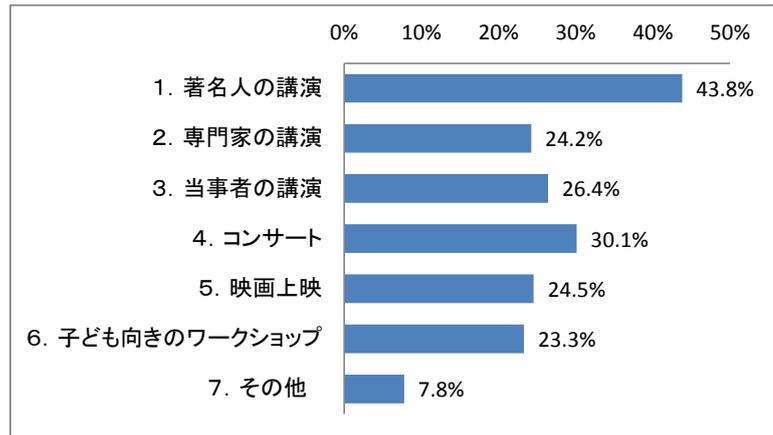
じんけんフェスタしが

人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



(2) 人権に関連したどのような内容であれば参加したいですか。
(回答チェックはいくつでも n=314)

	人数(人)	割合(%)
1. 著名人の講演	141	43.8%
2. 専門家の講演	78	24.2%
3. 当事者の講演	85	26.4%
4. コンサート	97	30.1%
5. 映画上映	79	24.5%
6. 子ども向けのワークショップ	75	23.3%
7. その他	25	7.8%



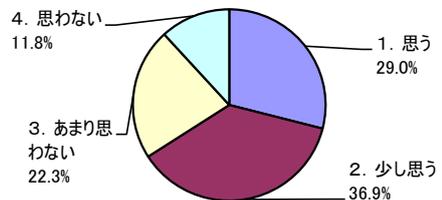
問4

県では、スポーツ組織と連携した啓発活動を行うことで、幅広い層の方々に人権について考えていただくこと、プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」(Bリーグ)および実業団バレーボールチーム「東レアローズ」(V・プレミアリーグ女子)、との連携事業を実施しています。この事業は人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=314)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	91	29.0
2. 少し思う	116	36.9
3. あまり思わない	70	22.3
4. 思わない	37	11.8
計	314	100.0

スポーツと連携した啓発

人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



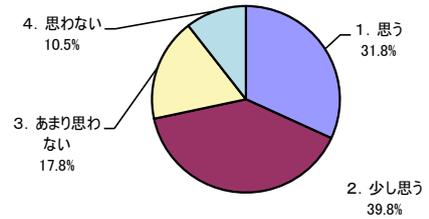
問5

県では、人権啓発キャラクター「ジンケンダー」を制作し、紙面への挿絵、TV番組放送、イベント出演など、広く活用することで、より親しみやすい啓発となるよう取り組んでいます。このようなキャラクターを活用した啓発活動は、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。
(回答チェックは1つだけ n=314)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	100	31.8
2. 少し思う	125	39.8
3. あまり思わない	56	17.8
4. 思わない	33	10.5
計	314	100.0

滋賀県人権啓発キャラクター「ジンケンダー」

「人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。」



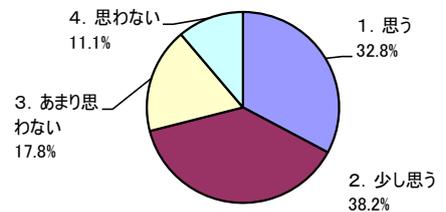
問6

県では、幅広い層の人に人権について考えていただくこと、多くの人が集まる場所に出かけ、ジンケンダーとふれあうステージショーや人権についての紙芝居を上演する「人権ふれあい啓発事業」を実施しています。この催しは、人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。(回答チェックは1つだけ n=314)

	人数(人)	割合(%)
1. 思う	103	32.8
2. 少し思う	120	38.2
3. あまり思わない	56	17.8
4. 思わない	35	11.1
計	314	100.0

ふれあい啓発事業

人権問題についての関心や理解を深めるために効果的だと思いますか。



問7

今後、より効果的な人権啓発を実施していくための御提案・御意見があればお聞かせください。(問1～6までにお答えいただいた理由や今後さらに活用すべき媒体、新しい手法、改善点など)(任意)(抜粋)

・映画館、イベント時のPRは有効。特に映画館では集中できる。地味な活動なので繰り返しが必要。幼児期からの教育が有効。(保育園、幼稚園から)

・ムダなことはないと思います。やり続けることで一人でも気づく人が増えていけばと思います。

・滋賀県ホームページやネットでの啓発を増やして欲しいです。また TVや講演会・イベントの情報提供の場を増やしていただくといいと思いました。

・現在取り組まれているように、様々な場所、形で、多くの人の目に触れるようにすることは良いと思う。キャラクターやアニメ、子供向けの催し(映画など)を使って小さな子供に働きかけることは、自然と親にもきっかけを与えることにもなっているので良いと思う。

・ジケンダーの登場で、少しでも人権について考える機会がある。その小さな積み重ねが、結果を生むのではないかな。

・人権という言葉に関心をもってもらうという意味では、イベントでチラシを配ったり、キャラクターが出てきたりするのも良いと思うのですが、身近に差別などの不当な扱いを受けている人がいないと子供も大人もそういったことがダメだとは理解できても、実感として理解できないと思います。ですので事例をあげてその人たちがどれほど辛く悲しいものか、悔しいものなのかを、考え、理解できるような取り組みも必要だと思いました。

・一般的に、人権を否定された体験、経験がないと興味薄い分野ですが、義務教育、高校教育、大学、企業の組合イベントで積極的な啓蒙活動してほしい。少しでも興味のある人は関心を持って参加してくれると思うし、そのような少し興味のある方々を徐々に増やして人権を守ることの大切さを皆で共有できるようにしてほしい。

・ジケンダーに学校に出向いてもらって、寸劇などでわかりやすい人権学習を展開してもらって人権に関心を持ってもらう。

・子供が多く集まる場所での実施を願います。子供が親に質問をして親子で考えるきっかけになります。

・このような活動は、大変必要だと思われるのでこのアンケート内に記入されている内容を含め根気強くこれからも続けて頂きたいと思います。機会が御座いましたら参加致したいと思います。

・今までの経験からすると、人権についての関心や理解を深めたのは当事者の人権問題の実例を踏まえた講演でした。そんな講演が身近で聞ければと思います。

・知らなかった活動も多いのですが良い取り組みだと思いますし、何かのきっかけで始まることが多いと思うので同じように繰り返していくことが大切だと思います。ただ人権という言葉だけが先走りにならないように無知の人が考える機会になったら良いと思います。

・人権と聞くと身構えてしまうので、堅苦しくならないような講演なんかに行きたいです。子どもと一緒に気軽に参加して学びたいです。

・人権問題については粘り強く啓もう活動を続けていかなければならない。何気なく気づかずにしていることが、知らず知らず相手を傷つけていることもあるので、より具体的に子供にもわかりやすく映像や漫画など親しみやすい手法を活用していくことに効果があると思う。相手の立場や気持ちになって、一度立ち止まって考えてみる習慣を続けていきたい。

・インターネットを通じたメディアを使用するのが効果的だと思うので、スマホ、YouTubeなどでの発信が効果的と思う。

・いろいろな手段を使って啓発をなされているが、県民にとって具体的に日常生活において、人権啓発の位置づけが結び付かないように感じる。その一線を越える啓発内容、手法等について検討すべきではないか。

・目にする機会はあまりないけど、啓発することは続けていくべきだと思う。ただ、それに対する経費がかかりすぎているなら、啓発していく所を厳選するなど啓発の仕方なども考えていくべきだと思います。

・スーパーや商業施設などで親子やファミリー層に訴えるのが効果的で、考えるきっかけになると思う。

・人権啓発のためのイベントを開催したとしても、そういうことに元々興味のない人は参加しないのではないかなと思う。一般に行われているイベントなどで、人権啓発を考えるきっかけになるような興味を引く動画を流す、チラシを配るなどでハッと気づききっかけになるのがいいと思います。

・人権啓発は、子供に重点を置いて教育すべきだと思います。ジケンダーで子供が興味を持ったことがあり、良いアイデアだと思います。子供向けのワークショップなどで、人権啓発を子供に浸透させてほしいと願っています。